

No.	海岸名	所管	市町村
1	大久漁港	水産	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいること、越波が激しいことから、その対策が必要である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域、自然景観資源に指定されている。
利用面	漁港利用者に対する配慮が必要。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	北側は波返し付護岸が整備され、前面は漁業利用されている。背後は集落。南側は波返しのない石積護岸で、護岸敷まで宅地が迫っている。
海岸状況	磯浜
利用状況	漁業 海水浴
背後地	住宅地
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カマモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	○
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	○
		港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			
自然景観資源：大久の海			

No.	海岸名	所管	市町村
2	汐浜港	国土(港)	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいため、その対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	共にポケットビーチ状の汐浜・立木地区からなる。汐浜は隠岐有数の砂浜海水浴場として整備されている。立木は礫浜で、港湾施設が隣接する。背後は共に山林である。
海岸状況	砂浜 礫浜 磯
利用状況	海水浴
背後地	山林
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	1車線
地域からの要請	環境と利用の共存
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	突堤・ヘッドランド 潜堤・人工リーフ
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カサモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
3-1	西郷港(東郷飯田地区)	国土(港)	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいこと、護岸が老朽化していることから、その対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	西郷湾最奥部に位置する区域。汀線はほとんど護岸に覆われている。飯田側の背後は県道沿いに民家点在、東郷側は水産高校や密集した民家。後方は山林である。
海岸状況	人工
利用状況	漁業 生活
背後地	住宅地 山林 農地
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	環境と利用の共存
現況防護施設	
防護目的	高潮 侵食
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カサモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
3-2	西郷港(小田地区)	国土(港)	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいこと、護岸が老朽化していることから、その対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	湾内の山裾の区域。直背後に県道が走り、民家が点在する。南側付近は港湾埠頭(木材等)となっている。
海岸状況	人工
利用状況	物流 漁業 生活
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	2km以上
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	環境と利用の共存
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	施設名 護岸
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カラムシ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用 (産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用 (レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
4	西郷漁港(磯地区)	水産	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいため、現在、高潮対策事業により整備中である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	漁港利用者に対する配慮が必要。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	海岸保全区域の北～西に位置する。背後は県道沿いに民家が建ち並ぶ。汀線はほとんど護岸に覆われ、波返しのない護岸が散在する。
海岸状況	人工
利用状況	漁業
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	隣接
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	環境と利用の調和
現況防護施設	
防護目的	高潮 侵食
現保全施設	護岸 水門・閘門
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カサモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
5	都万漁港	水産	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	海岸環境整備事業により整備を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	部分的に侵食、堆積が進んでいるため、その対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	海水浴利用者、漁港利用者に対する配慮が必要。

海岸及び背後の状況			
海岸保全区域の概況	湾の南側は海水浴場として利用されている砂浜海岸で背後はレクリエーション施設。中央部は波返しのない道路護岸が続き、北側は漁業利用されている。		
海岸状況	人工	砂浜	磯
利用状況	海水浴	漁業	
背後地	住宅地	山林	観光地
幹線道路からの距離	隣接		
アクセス道路	2車線以上		
地域からの要請			
現況防護施設			
防護目的	高潮	侵食	
現保全施設	施設名	護岸	離岸堤
飛砂対策	なし		

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カラムシ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用 (産業面)	漁港	○
		港湾	
	海辺利用 (レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
6	長尾田港	国土(港)	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいため、その対策が必要である。
環境面	社会的環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者、海水浴利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	港に隣接する礫浜海岸。背後は民家が密集している。波返し付護岸が整備されている。
海岸状況	礫浜
利用状況	漁業
背後地	住宅地
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	1車線
地域からの要請	道路高、護岸天端高の不足
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	護岸
施設名	離岸堤
飛砂対策	突堤
	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (ガラモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			
規模は小さいが海水浴利用もされている。			

No.	海岸名	所管	市町村
7-1	重栖港(福浦地区)	国土(港)	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	海岸環境整備事業により整備を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいるため、現在、海岸環境整備事業により整備中である。
環境面	自然環境要素として特定植物群落、藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	福浦地区南側に位置する海岸。港湾施設に隣接する。背後は山林、前面は、現在、海岸環境整備事業により整備中である。
海岸状況	砂浜
利用状況	海水浴 漁業
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	隣接
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	○
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カサモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			
特定植物群落：弁天島の植生(1)(2)			

No.	海岸名	所管	市町村
7-2	重栖港(重栖地区)	国土(港)	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいこと、護岸が老朽化していることから、その対策が必要である。
環境面	自然環境要素として特定植物群落が近隣にあり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対しての配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	重栖地区最奥部で、旧重栖川河口に位置する要指定区域。背後は民家が数軒ある。前面は漁業利用されている。
海岸状況	人口
利用状況	漁業
背後地	住宅地
幹線道路からの距離	隣接
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	
現保全施設	施設名
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	○
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (ガラモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域	
		鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	
		港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			
特定植物群落：重栖のハイネズ群落、弁天島の植生(1)(2)			

No.	海岸名	所管	市町村
8	島後島五箇(重栖地区)	農林振興	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	侵食対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいること、護岸が老朽化していることから、その対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。(重栖港)

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	重栖港内北側に位置する区域。背後は農地、前面はほとんどが護岸で覆われている。
海岸状況	人工
利用状況	
背後地	農地
幹線道路からの距離	500m～2km
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カサモ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
9	代港	国土(港)	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいこと、堤防が老朽化していることから、その対策が必要である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	代川河口に位置する石浜海岸。緩勾配の浜の背後に石積護岸が築造されている。その後方は農地が広がる。
海岸状況	礫浜
利用状況	海水浴 漁業
背後地	農地 山林
幹線道路からの距離	500m～2km
アクセス道路	1車線
地域からの要請	保全施設が石積みのため老朽化しており対策が必要。落石対策
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	施設名 堤防
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カラムシ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用 (産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用 (レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
10	久見漁港	水産	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	高潮対策事業により整備を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波、飛沫が激しいため、その対策が必要である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	漁港利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	久見川河口に位置する石浜海岸。背後は集落、前面は波返し付護岸と離岸堤が整備されている。
海岸状況	礫浜
利用状況	海水浴
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	500m～2km
アクセス道路	1車線
地域からの要請	昔の磯浜の復元、飛沫による塩害の防止
現況防護施設	
防護目的	高潮
現保全施設	護岸
施設名	離岸堤
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カサモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域	○
		自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港	○
		港湾	
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
11	西村港	国土(港)	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	新規箇所を含め、侵食対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいるため、その対策が必要である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域に指定されている。
利用面	港湾利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	港の南側に隣接する北向きの石浜海岸。背後は丘陵地に水田が広がる。前面は大石による護岸が築造され、区域東端は石浜が広がる。
海岸状況	礫浜
利用状況	不明
背後地	農地 山林
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	車でのアクセス困難
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	施設名 離岸堤
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カサモ場・海中林)	○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			

No.	海岸名	所管	市町村
12	中村漁港	水産	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	海岸環境整備事業により整備を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	侵食が進んでいるため、その対策が必要である。
環境面	社会環境要素として自然公園区域、自然景観資源に指定されている。
利用面	漁港利用者、海水浴場利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	保全区域は、湾最奥部に位置する砂浜海岸。隠岐有数の砂浜海水浴場として利用されている。要指定区域は、湾南東側の山裾に広がる石浜海岸。
海岸状況	砂浜 礫浜
利用状況	海水浴 漁業
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	2車線以上
地域からの要請	遊歩道の保護
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸 潜堤・人工リーフ
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カラムシ場・海中林)	
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	○
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	○
備考			
自然景観資源：隠岐海苔田の鼻			

No.	海岸名	所管	市町村
13	卯敷港	国土(港)	隠岐の島町



海岸整備の方向性	
全体	新規箇所を含め、高潮対策を進める。施設整備にあたっては環境面、利用面に配慮する。
防護面	越波が激しいため、現在、海岸環境整備事業により整備中である。
環境面	自然環境要素として藻場があり、社会環境要素として自然公園区域、自然景観資源に指定されている。
利用面	港湾利用者、海水浴利用者に対する配慮が必要である。

海岸及び背後の状況	
海岸保全区域の概況	海岸保全区域は、卯敷川河口の港湾施設がある湾内の砂浜海岸。要指定区域は、湾南側の岬を挟んだ岩礁海岸。
海岸状況	砂浜 礫浜
利用状況	漁業 海水浴
背後地	住宅地 山林
幹線道路からの距離	500m以内
アクセス道路	1車線
地域からの要請	
現況防護施設	
防護目的	侵食
現保全施設	護岸 離岸堤 突堤・ヘッドラント
施設名	
飛砂対策	なし

海岸整備における配慮要素			
環境面			該当
自然環境要素	海辺の注目種	特定植物群落	
	海辺の地形的要因	藻場 (アマモ場・海中草原) 藻場 (カラムシ場・海中林)	○ ○
社会環境要素	海岸景観(法的規制区域)	自然公園区域 自然環境保全地域 鳥獣保護区(特別保護区)	○
	海岸景観(その他)	自然景観資源	○
利用面			該当
社会環境要素	海辺利用(産業面)	漁港 港湾	○
	海辺利用(レクリエーション面)	海水浴場	
備考			
自然景観資源：隠岐布施海岸			
規模は小さいが海水浴利用もされている。			